

➤ 15日 土曜

ヨシュア

3:9 ヨシュアはイスラエルの子らに言った。「ここに来て、あなたがたの神、【主】のことばを聞きなさい。」

3:10 ヨシュアは言った。「生ける神があなたがたの中にいて、自分たちの前からカナン人、ヒッタイト人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、アモリ人、エブス人を必ず追い払われることを、あなたがたは次のことで知ることになる。」

3:11 見よ。全地の主の契約の箱が、あなたがたの先頭に立ってヨルダン川を渡ろうとしている。

3:12 今、部族ごとに一人ずつ、イスラエルの部族から十二人を取りなさい。

3:13 全地の主である【主】の箱を担ぐ祭司たちの足の裏が、ヨルダン川の水の中にとどまるとき、ヨルダン川の水は、川上から流れ下る水がせき止められ、一つの堰となって立ち止まる。」

3:14 民がヨルダン川を渡ろうとして彼らの天幕から出発したとき、契約の箱を担ぐ祭司たちは民の先頭にいた。

3:15 箱を担ぐ者たちがヨルダン川まで来たとき、ヨルダン川は刈り入れの期間中で、どこの川岸にも水があふれていた。ところが、箱を担ぐ祭司たちの足が水際の水に浸ると、

3:16 川上から流れ下る水が立ち止まった。一つの堰が、はるかかなた、ツアレタンのそばにある町アダムで立ち上がり、アラバの海、すなわち塩の海へ流れ下る水は完全にせき止められて、民はエリコに面したところを渡った。

3:17 【主】の契約の箱を担ぐ祭司たちは、ヨ



ルダン川の真ん中の乾いたところにしっかりと立ち止まった。イスラエル全体は乾いたところを渡り、ついに民全員がヨルダン川を渡り終えた。

「【主】の箱を担ぐ祭司たちの足の裏が、ヨルダン川の水の中にとどまるとき、ヨルダン川の水は、川上から流れ下る水がせき止められ」とあります。紅海を渡るときは初めに海が分かれたのですが、ヨルダン川では先に足が入るのです。

これは救いときよめの違いを表します。救いときは十字架の贖いが全て整っていて、ただ受け入れれば良いのです。一方きよめは、自分から困難の中に身を投じていく信仰が必要なのです。それは悔い改めであり、人生をかけた祈りであったり、またはリスクをかけての従いであったりします。

ただしそのような中にも契約の箱が先立っていたように、私たちには主の救いの契約がありますから、安心してよいのです。主の愛を信じて一步を踏み出すなら、川がせき止められたように、主によって状況が変えられ、素晴らしいことが起こるのです。

信仰をもって、それぞれに主から与えられたヨルダン川を渡りましょう。主を信じて一步を踏み出しましょう。主の御心ならばだいじょうぶです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

